

国語

○次のA・Bの文章を読んで、後の問いに答えなさい。

注・答えに字数制限がある場合は、句読点なども一文字として数えること。

A

もし、眠るたびに記憶を失う病気にかかったとしたなら、どうなるだろう。

まだ高校生だった頃だろうか。そんな、他愛のない想像を、ふくらませたことがある。彼は毎朝、自らが誰だったかすら、忘れている。両親も友人も、妻子すらも、見ず知らずの他人にしか見えない。昨日までの過去は、もはや彼のものではない。そして、明日からの未来も。

家族も対策を考えるであろう。毎朝、二時間のレクチャーを用意する。なぜ彼が記憶を失ったかに始まり、彼の出自、身分、人間関係など、事¹コマかに説明する。毎朝繰り返し返すわけであるから、家族の講義は、時を追って熟練してゆくことであろう。そのうちに、いちいち口で説明するのが面倒になり、教材が作成される。文書と、昨日までの半生がまとめられたVTRが用意され、レクチャーは簡略化、教育の効率向上がハカ²られる。

ア この場合、**生命体**として数十年の天寿をまっとうしたとしても、**人**として数十年生きたことになるのであろうか。(1) 彼は、レクチャーの後で、妻子への愛を再確認するかもしれない。(2) 今妻子を愛している彼は、(3) 昨日の彼ではない。(4) 就寝する頃ともなれば、彼は涙を流し、妻子と別れの時を過ぎすことであろう。今日の

美しい思い出は、明日の彼にとつて、遠い忘却⁴のかなたにある。忘却をトモナう眠りは、死と何ら変わることがない。人生が二万日ほどあるとすれば、彼はその「生涯」の中で、二万回の輪廻転生を繰り返すことになる。

B

「国家」「民族」なども、実はそんなものではないか。そう考えるようになったのは、大学に入ってからである。当り前の話だが、今の日本人の中で、蘇我入鹿の誅殺現場、義経鴨越の瞬間、織田徳川連合軍の一斉射撃で蜂の巣にされた武田の将兵などを、目撃したという人はいない。しかしそれらは、国家により制度化された学校教育を通して、子供たちの脳裏⁶に、民族の記憶として刷り込まれる。あまつさえ、それらにまつわる小説が書かれ、映画、TVドラマが制作される。こうして、本来自らのものではない「昨日」が、共同幻想の絶え間ない再構築の中で、この列島に暮らす人々すべてに、等しく獲得されてゆくのである。

人々の多くは、自らの祖先がどこから来たかさえ知らない。ひよっとしたら、室町時代あたりに、沿海州から能登に漂着した、北方狩猟民族の後裔かもしれない。しかし彼は、共同幻想の中で、蘇我入鹿、源義経、織田信長、そして自分を一本の糸でつなぎ、自らが栄えある日本国の一員であるとの自覚を持つに至る。

『上海―大陸精神と海洋精神の融合炉』

田島英一

PHP新書

問1 文中の傍線部1～6のうち、漢字はその読み方をひらがなで答え、カタカナは漢字に改めなさい。

問2 文中の傍線部a～dの語句の意味の説明としてふさわしいものを、次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | | |
|---|-------------|----------------|
| a | ア 同情心のない | イ 周りの空気が読めない |
| ウ | 冷静で沈着な | エ しっかりした考えがない |
| b | ア 時間がたつにつれて | イ 過去にさかのぼって |
| ウ | より速やかに | エ 時代の変化に従って |
| c | ア 人間らしく生きる | イ 迫力のある生き方をする |
| ウ | 寿命いっぱい生きる | エ 天に恥じない生き方をする |
| d | ア しながら | イ それというもの |
| ウ | 余談になるが | エ そのうえおまけに |

問3 傍線部エとほぼ同じ意味を持つ漢字二文字の単語をAの文中から抜き出さなさい。

問4 文中の() ①～④に入る語の組み合わせとして正しいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- | | |
|---|---------------------|
| ア | もしも——そして——しかし——やがて |
| イ | あるいは——しかし——すでに——そして |
| ウ | もちろん——そして——もはや——つまり |
| エ | あるいは——しかし——もはや——やがて |

問5 傍線部ア「この場合」の具体的内容を文中から一〇文字で抜き出さなさい。

問6 文中で用いられている「生命体」と「人」の違いを説明しなさい。

問7 傍線部イの「そんなもの」とはどのようなものか。最適と思われる答えを次の中から選び、記号で答えなさい。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| ア・輪廻転生 | イ・美しい思い出 | ウ・失われた記憶 |
| エ・他愛のない想像 | オ・教育の効率向上 | |

問8 傍線部ウと同じ内容を約三〇文字で言い換えている文を抜き出し、文末が「～こと。」で終わるように直して答えなさい。

解答

問8			問7	問6		問5	問4	問3	問2	問1	
一	田	蘇	エ	人	生命体	眠	エ	出自	a	4	1
本	信	我				る			エ	ぼうきやく	細
の	長	入				た			b		
糸	、	鹿				び			ア	5	2
で	そ	、		に	記	伴			図		
つ	し	源		憶	c						
な	て	義		を	ウ	6			3		
ぐ	自	経		失	d	のうり			しゅうしん		
こ	分	、	う	エ							
と。	を	織									

出題の趣旨

高校で学ぶ国語は、言葉のはたらき（理解する力と伝える力）を身につけることを通して、思考力や想像力を養い、これまで以上に自身の世界観を豊かに育てることを目標とします。これは大学受験に十分に対応する学力としての「読解力」と「表現力」をつけることにつながる力ともいえます。

このような観点から、本校の適性検査の出題は、物事の仕組みや、世界のあり方などさまざまな分野の世界に目を向け、それを理解し、伝えようとする「評論文」を中心に出题されます。今回示した出題例はその一部分です。実際の問題文はこれより長文となりますが、基本的に問われる事柄は変わりません。

記号選択式の設問だけでなく、問題文を活用する記述式の設問もあります。問題文全体の正確な読み取りが求められます。

解説

基本的な国語力を問います。「読み」「書き」の力と、「語彙力」が国語理解の一番の基礎です。

問1 基本的な文字力を問う問題

問2 言葉の意味を問う問題

問3 問2の裏返しの問題

文章の流れや、文章の組立て方を問います。論理的な表現を正確に読み取る力や、論理の結びつき方を理解する力が必要です。

問4 文脈を読み取る問題

問5 指示語の問題

問6 言葉の意味を文脈の中で読み取る問題

問題文全体の大きな構造や、全体の主題に関係した事柄を問います。筆者の主張を正確に読み取る力が必要です。

問7 主題の把握に関連した読み取りの問題

AとBの各文が同じ構造を持っていることを理解する必要があります。

Bの『本来自らのものではない「昨日』』と表現された内容が、Aの文中ではどのように言われているか考えます。

問8 主題の把握に関連した言い換えの問題

大切な主張は表現を変えて再び述べるのが常です。単に文を抜き出すだけではなく、それを解答の形式に合わせる工夫が必要です。